

令和 2 年 8 月 7 日
国土交通省 九州地方整備局
武雄河川事務所 巖木ダム管理支所

7月6日からの大雨における 巖木ダム防災操作の効果について

巖木ダムでは、7月6日より防災操作を行いました。

ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約6割低減しました。

これにより、ダム下流の中島橋水位観測地点において、河川の水位を約100センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

- ・ 巖木ダムでは、7月6日～8日の間に4回洪水調節を実施しており、8日0時39分に最大135.2 m³/sの流入があり、そのうち最大で73.7 m³/sを流し、下流河川の増水を緩和しました。
- ・ 巖木ダム流域平均の総雨量：504.1 mm（5日19時～8日7時）
- ・ 巖木ダム流域平均の最大1時間雨量：43.4 mm（7日7時）

※水位観測地点所在地

佐賀県唐津市巖木町大字中島 地先

※流域平均：ダム流域内の4観測地点（星領・広川・天川・巖木）平均

巖木ダム管理支所 HP

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kyuragi/>

【巖木ダムの防災操作】

<流入量>

ダムへ流れてきた水量
最大 135.2 立方メートル/秒
(7月8日0時39分時点)

<放流量>

下流の河川へ流した水量
最大 73.7 立方メートル/秒
(7月8日1時34分時点)

今回の大雨で貯めた水量 約 57 万立方メートル

防災操作後の貯水位 200.26m

防災操作前の貯水位 198.79m

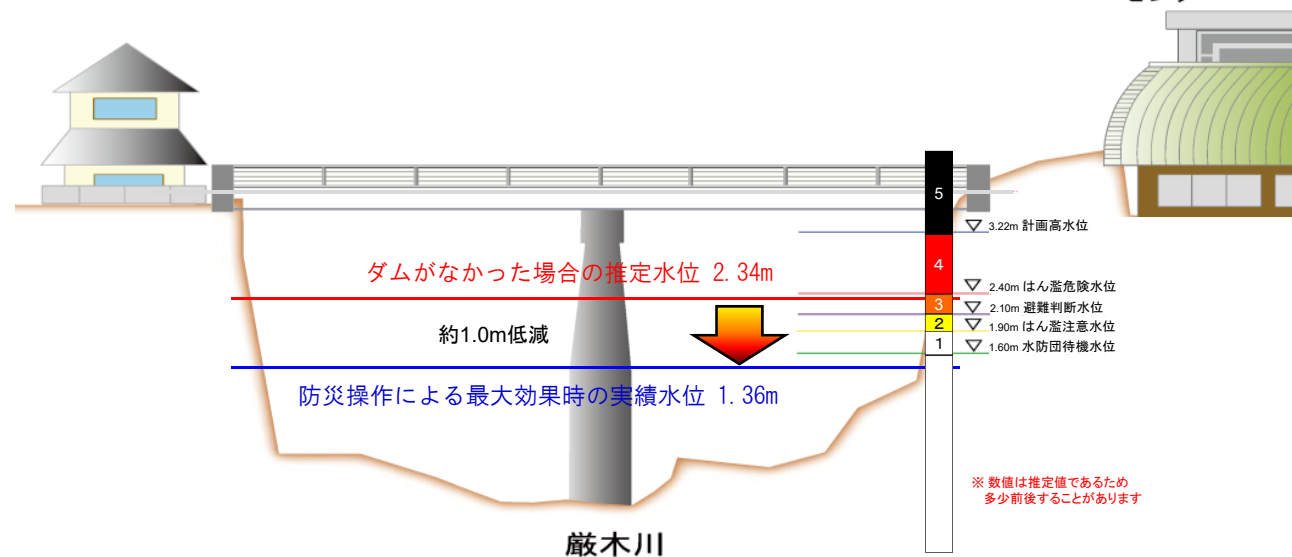
約 1.5 m ダムに貯まりました。

水道用水などに利用するために常時貯めている水量

ダムへ流れてくる
最大水量時点で約
6割低減させて流
しました。

【巖木ダムにおける下流河川水位低減効果】

なかしまばし
中島橋水位観測所地点水位比較図



※ ダムがなかった場合の河川推定水位やその低減量等、本発表における数値は速報値です。
今後、最終的に整理される数値とは異なる場合があります。